

令和6年度 上田市指定管理者モニタリング評価調書

【施設概要】

施設名称		上田市つむぎの家				
指定管理者名	社会福祉法人 上田しいのみ会		料金制導入区分	利用料金		
指定管理期間	令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日 (3年間)					
施設所管課	福祉部	障がい者支援課	担当者(内線)	橋詰(1438)		
設置目的	地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第1項の規定により、重症心身障害児・者に対する日常生活上の支援、創作的活動の機会の提供その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な援助を行う。					
指定管理者が行う業務内容	障害者総合支援法及び児童福祉法で定める生活介護、放課後等デイサービス及び児童発達支援サービスの提供					
管理業務の状況	作業項目	作業内容	回数	実施日	実施状況	
	生活介護サービス	重症心身障がい者の日中活動支援(登録)	1,212	通年	月曜から金曜	
	放課後等デイサービス	重症心身障がい児の療育支援(登録)	114	通年	月曜から金曜	
	児童発達支援サービス	重症心身障がい児の発達支援(登録)	0	通年	月曜から金曜	
職員の配置状況	役職等(職務内容)			計画	実績	
	施設長			1 人	1 人	
	サービス管理責任者			1 人	1 人	
	看護師(保健、看護、支援及び送迎業務)			5 人	5 人	
	生活支援員(支援、送迎業務)			3 人	3 人	
	事務員(会計事務)			1 人	1 人	
	管理栄養士(栄養管理)			1 人	1 人	
	嘱託医(定期的な健康管理)			1 人	1 人	
	機能訓練指導員(リハビリ、音楽療法)			3 人	3 人	
施設の 利用状況	利用区分等	設定目標値	R6年度実績	達成率	R5年度実績	前年度比
	生活介護サービス	— 人	1,212 人	%	1,146 人	105.8 %
	放課後等デイサービス	— 人	114 人	%	109 人	104.6 %
	児童発達支援サービス	— 人	0 人	%	0 人	%
	開館日数	312 日	延べ利用者数 (R6)	1,326 人	一日あたり 利用者数	4 人
	(施設所管課による評価)					
	令和6年度は施設を中之条から小泉に移転し、5月より運営を開始した。 生活介護は登録者11名(うち医療的ケアを要する者7名)、放課後等デイサービスは登録者3名(うち医療的ケアを要する者1名)で前年度と変わらず、利用日数もそれぞれ前年と同程度だった。 児童発達支援は前年に引き続き登録者はいなかった。					
自主事業 の状況	事業・イベント名(内容)			開催日時	参加者数	
	無し					
	(施設所管課による評価)					

【収入・支出の状況】

(金額単位:円)※ 消費税額含む

			項目	令和4年度 決算額	令和5年度 決算額	令和6年度 予算額	令和6年度 決算額	備考
指定管理者	指定管理業務	収入	自立支援費給付費収入	16,438,739	17,705,070	18,600,000	18,801,905	
			障害児施設給付費収入	7,271,080	2,932,852	3,400,000	3,414,570	
			利用者負担金収入	182,800	245,442	268,000	262,059	
			その他事業収入等	3,491,480	3,302,582	5,444,000	3,619,604	
			その他収入	1,758,184	2,183	41,000	46,406	
			指定管理料	8,774,741	14,949,927	17,770,000	18,596,128	
			計	37,917,024	39,138,056	45,523,000	44,740,672	
		支出	人件費	31,846,495	34,428,517	39,212,000	38,826,972	
			事業費	2,061,422	2,071,963	3,221,000	2,939,824	
			事務費	3,495,531	2,281,416	3,032,000	2,916,084	
			その他支出	513,576	356,160	－	－	
		計	37,917,024	39,138,056	45,465,000	44,682,880		
	差引			0	0	58,000	57,792	
	その他の活動	収入	積立資産取崩収入			343,000	342,720	
			計	0	0	343,000	342,720	
		支出	退職給付引当資産支出			401,000	400,512	
計			0	0	401,000	400,512		
差引			0	0	-58,000	-57,792		
市	歳入	他市町村利用者負担金	462,157	798,123	361,000	936,093		
		計	462,157	798,123	361,000	936,093		
	歳出	指定管理症	8,774,741	14,949,927	17,770,000	18,596,128		
		備品購入						
		計	8,774,741	14,949,927	17,770,000	18,596,128		
差引			-8,312,584	-14,151,804	-17,409,000	-17,660,035		
総合計			-8,312,584	-14,151,804	-17,409,000	-17,660,035		

【施設所管課による評価】(全施設共通評価項目)

	評価項目	判 断 基 準	評価
施設管理	施設の運営・清掃の状況	事業計画等に基づき、施設運営に必要な人員と有資格者が配置されているか。 責任者や指揮命令系統は明確か。	◎
		条例に基づく「開館(場)時間」や「休館(場)日」が遵守されているか。	◎
		事業計画等に基づき、利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているかどうか。	◎
	光熱水費・環境への配慮の状況	施設の利用状況等に応じて、適切な使用量となっているか。 (※電気・ガス・水道・燃料の使用がない施設は評価対象外)	○
		省エネ、温室効果ガス削減やごみの減量化・分別を行っているか。	○
	設備・備品の保守・管理状況	消防設備は法令等に基づき点検が行われているか。避難経路に障害物はないか。 (※消防設備が不要な施設は評価対象外)	○
		事業計画等に基づき、施設や設備の点検、必要な修繕が適切に行われているか。	◎
		備品に過不足がなく、適切に管理されているか。	◎
	事務手続きの状況	第三者への業務委託は適正に行われているか。	◎
		条例や基本協定書に規定する事業計画書や事業報告書等の書類が遅滞なく提出されているか。また、内容は適切か。	◎
財務状況	収入の状況 (※無料施設は評価対象外)	収支予算に基づき、必要な収入が確保されているか。	◎
		収入増に向けて、PR等の取組が行われているか。	○
		料金の徴収や減免等の手続きが適切に行われているか。	○
	支出の状況	収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか。 施設運営に不要な経費の支出がないか。	◎
	経理事務・帳票類の保管等	経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか。	◎
		管理費用の執行状況は適正か。	○
安全対策・危機管理	個人情報の保護・施設管理上の秘密の保持等	利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか。	◎
		施設や金庫等の鍵・暗証番号等、施設管理上の秘密の管理者や管理方法が明確であり、適切に管理されているか。	○
	利用者の安全対策・緊急時の対応	緊急・災害時の対応マニュアルや連絡体制が整備されるとともに、避難訓練等、必要な取り組みが行なわれているか。	○
		危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか。	◎
		管理業務仕様書と基本協定書で指定する施設賠償責任保険に加入しているか。 (※加入不要な施設は評価対象外)	◎
利用者サービス	利用者サービス向上の取組	アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組が整っているか。	○
		対応する職員によって提供するサービスに差が生じないように、職員に対する研修等、適切な対応が行われているか。	◎
	施設利用者への対応	利用者が気持ちよく利用できるよう、接客マナーや施設利用に係るサービスは適切であるか。	◎
		特定の利用者を優遇したり、利用を制限していないか。	◎
従業員の労働条件	労働条件の明示、帳簿類の整備等	労働契約書(労働条件通知書)が適正に整備されているか。	○
		法定三帳簿(労働者名簿、出勤簿、賃金台帳)が適正に整備されているか。	○
		就業規則が適正に整備されているか。	○
		36協定が適正に締結されているか。	○
	労働条件の内容	労働時間の管理は適正か。	○
		賃金の管理は適正か。	○
		年次有給休暇の運用・管理は適正か。	○
	各種保険・安全衛生	社会保険・労働保険に加入しているか。	◎
		安全衛生の管理体制は適正か。	○
個別事項			
(施設所管課の評価)※「△」や「×」の評価がある場合は、改善対応を記載			

【指定管理者による自己評価】(セルフモニタリング)

(1)令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の取り組みに対する評価

①利用者増加・利用者サービス向上への取り組み

・令和6年5月に中之条から小泉に施設を移転しました。これにより、利用者の安全・安心を図り、サービス向上を目指します。
・登録者数は生活介護、放課後等デイサービスともに前年度と同数です。利用日数は前年度よりやや増加しています。
・満足度調査や保護者会を通じて随時利用者の要望を確認しています。

②経費節減に対する取り組み

・節電や節水等に取り組み経費削減に努めています。電気・水道料金と燃料費は減少しましたが小泉の施設は冷暖房と給湯にガスを使用しているため、ガス料金が増加し、光熱水費全体では増加しました。また、移転により送迎距離が増加したため、車両燃料費も増加しました。
・年度当初の施設移転のために人員を確保したため、人件費が増加しました。(該当者は既に雇用が終了しています。)

③その他

・つむぎの家の休職は上田しいのみ園で調理したものを配送しています。(しいのみ園の調理部門はR7.4.1より外部委託となります。)
・利用者に急な発熱があった場合に隔離して介護できるよう個室のゾーニングを行いました。
・既設の空調機器が耐用時間超過により不調となったため、上田市と協議の結果、機器の更新を行いました。

(2)指定管理業務実施上の課題

・年度末に児童指導員が1名退職しましたが、求人に応募がありません。法人内の異動により対応しましたが、法人全体で人材不足の状況です。
・現在の人員体制では、放課後等デイサービスの利用者が成人後に生活介護へ切替を希望しても受け入れが困難です。
・蛍光灯製造禁止に伴い、今後照明設備の切り替えが必要となります。
・市から貸与されている送迎用車両が登録から15年経過し老朽化しているため、数年内に更新が必要となります。

(3)次年度以降の取り組み

・国の設置基準に基づいた人員配置の維持及び介護人材への処遇改善策を活用した雇用維持
・人材を確保できた場合の利用定員増
・事業継続計画に基づき必要資機材を購入

(4)その他

①利用者からの主な意見、苦情及び対応等

・苦情受付はありませんでした。
・入浴設備を訪問入浴以外に家族介護で使用できないかと利用者の家族から問い合わせがあったため今後の検討事項とします。

②市からの改善指示に対する対応(※ 市から改善指示等があった場合のみ)

・特にありません。